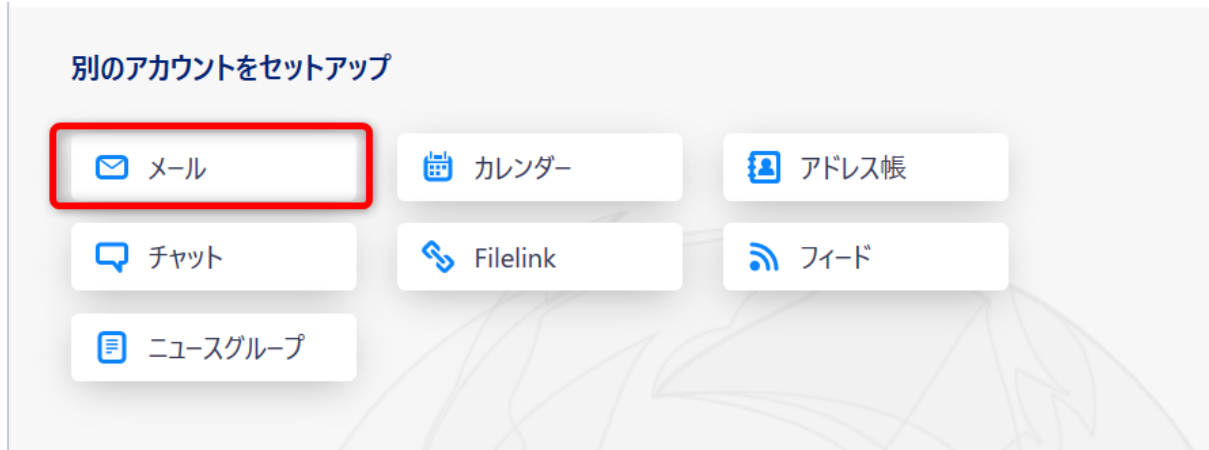


■Thunderbird 91 の場合

- ①Thunderbirdを起動されたら
アカウントのセットアップより、「メール」を選択します。



- ②既存のメールアドレスのセットアップの設定を行います。

- ・あなたのお名前(N) : 差出人名で表示されるお名前をご設定ください。
- ・メールアドレス(E) : 発行させていただいたメールアドレスをご設定ください。
- ・パスワード(P) : 添付ファイルでお送りしたパスワードをご設定ください。

設定後、「手動設定」をクリックしてください。

既存のメールアドレスのセットアップ

現在のメールアドレスを使用するには、そのアカウント情報を記入してください。
関連するサービスへ接続したりアカウント設定の詳細を変更することにより、さらに使いやすくなります。

あなたのお名前

メールアドレス

パスワード

パスワードを記憶する

上記設定後に「手動設定」をクリックしてください。

手動設定 キャンセル 続ける

はじめに

あなたの認証情報はローカルのあなたのコンピュータにのみ保存されます。

③手動設定の画面で下記の様に設定を行います。

* 受信サーバー

- ・プロトコル: POP3
- ・サーバー: mail.○○○○○
(「○○○○○」の箇所は、メールアドレスの「@」以降をご記入ください。)
- ・ポート番号: 110
- ・接続の保護: 自動検出
- ・認証方式: 自動検出
- ・ユーザー名: メールアドレスをご記入ください。

* 送信サーバー

- ・プロトコル: SMTP
- ・サーバー: mail.○○○○○
(「○○○○○」の箇所は、メールアドレスの「@」以降をご記入ください。)
- ・ポート番号: 587
- ・接続の保護: 自動検出
- ・認証方式: 自動検出
- ・ユーザー名: メールアドレスをご記入ください。

手動設定

受信サーバー

プロトコル: POP3

ホスト名: mail.○○○○○

ポート番号: 110

接続の保護: 自動検出

認証方式: 自動検出

ユーザー名: ○○○○○○@○○○○○

送信サーバー

ホスト名: mail.○○○○○

ポート番号: 587

接続の保護: 自動検出

認証方式: 自動検出

ユーザー名: ○○○○○○@○○○○○

[詳細設定](#)

④「詳細設定」をクリックします。

手動設定

受信サーバー

プロトコル: POP3

ホスト名: mail. [REDACTED]

ポート番号: 110

接続の保護: 自動検出

認証方式: 自動検出

ユーザー名: [REDACTED]

送信サーバー

ホスト名: mail. [REDACTED]

ポート番号: 587

接続の保護: 自動検出

認証方式: 自動検出

ユーザー名: [REDACTED]

[詳細設定](#)

⑤サーバー設定の画面で、【セキュリティ設定】の設定を下記のように変更します。

- ・接続の保護:なし
- ・認証方式:平文のパスワード認証(安全でない)

The screenshot shows a web-based configuration interface for a mail server. On the left is a sidebar menu with options like 'サーバー設定', '送信控えと特別なフォルダー', '迷惑メール', 'ディスク領域', 'エンドツーエンド暗号化', '開封確認', 'ローカルフォルダー', and '送信 (SMTP) サーバー'. The main area is titled 'サーバー設定' and contains the following fields:

- サーバーの種類: POP メールサーバー
- サーバー名(S): mail. [redacted]
- ポート(P): 110 [dropdown arrow] 既
- ユーザー名(N): [redacted]

Below these is a section titled 'セキュリティ設定' with two dropdown menus highlighted by red boxes:

- 接続の保護(U): なし
- 認証方式(I): 平文のパスワード認証 (安全でない)

At the bottom of the main area, the text 'サーバー設定' is repeated.

上記で設定完了です。